

「令和6年度大崎地域移住定住促進事業企画運營業務」に係る質問及び回答

令和6年5月16日

No	質問	回答
1	①応募資格の有無について 募集要領の「2. 応募資格」の欄には宮城県物品等競争入札参加登録の有無について記載はありませんが、参加申込書には宮城県物品等競争入札参加登録番号の記載欄があります。応募には宮城県物品等競争入札参加登録が必要であるのか、ご教示ください。	物品調達等に係る競争入札の参加資格等に関する規程(平成9年宮城県告示第1275号)第4条第2項の規程に基づく、物品調達等に係る競争入札参加業者登録簿に登録された者であることは応募資格として定めておりません。募集要領2 応募資格に記載しているとおりです。
2	②大崎地域移住希望者向け移住体験会事前ワークショップ及び移住体験会について 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数、SNS活用実績など	当該事業はR4からの事業となりますので、No.2～No.8 (No.5、No.7を除く)に係る実績は過去2年分となります。 〈移住体験会事前ワークショップ〉 R5: オンライン3回(各1名) 移住体験会の行程の説明、視察したい場所の聞き取り等。 〈移住体験会: 2泊3日のプログラム〉 R4: リモートワーカー向け(6名) 居久根のある家の周遊、サステナビリティの見学等。 大学生向け(3名) 郷土料理のしそ巻き作りや薔薇染め体験等。 R5: 3組5名 管内市町のプログラムによるまちあるき、各自治体職員及び地域おこし協力隊、既移住者等との交流会を実施。 〈SNS活用実績(フォロワー数)〉 R4: 141人(10～11月)、R5: 173人(10～2月)
3	③移住者交流会について 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数など	R4: 対面1回(17名)、オンライン1回(12名) 対面でクリスマス会を開催し、各自治体のPRやグッズ、特産品などを提供。オンラインでは各自治体紹介のほか、方言クイズ等を実施。 R5: 対面1回(16名) 「大人向け」に地酒や肴を紹介するなどの交流会を実施。
4	④市町移住定住担当者会議について 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加メンバー(移住相談員?自治体職員のみ?)など	R4: 対面1回(33名)、オンライン2回(9名、7名) 各自治体の担当職員のほか、地域おこし協力隊等を交え、各市町の移住事業に関する取組紹介やワークショップ等を実施。 R5: 対面2回(15名、16名)、オンライン1回(14名) 各市町の移住事業に関する情報交換等を実施。
5	⑤市町移住定住担当者研修会[先進地視察等]について 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数 など	当該仕様は前年度からで1泊2日のプログラムとなっております。 R5: 14名 県外の農家民泊で、先進的な取組事例の視察や自治体との意見交換を実施。
6	⑥地域おこし協力隊意見交換会(年2回)について 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数 など	R4: 対面2回(33名、23名)。 ※うち1回は④移住定住担当者会議と合同開催。 各自治体の担当職員等を交え、各市町の移住事業に関する取組紹介やワークショップ等を実施。 R5: 対面1回(29名)、オンライン1回(22名) 各自治体の担当職員等を交え、各市町の移住事業に関する取組、地域おこし協力隊が協力した事例紹介やワークショップ等を実施。
7	⑦地域おこし協力隊定住に向けた研修会(年1回) 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数など	当該仕様は前年度からとなります。 R5: 18名(各自治体移住定住担当者、地域おこし協力隊等) 県内の隊員OBが開業した宿泊施設を参観し、講話の聴講、情報交換等を実施。
8	⑧地域おこし協力隊の活動をPRするイベント(年1回) 前年度や前々年度等の実績があれば教えてください(できれば過去3年)。 ・内容や参加者数など	R4: 約400名 各自治体の地域おこし協力隊による出店(飲食、ワークショップ、展示等)、ステージコンテンツとして音楽演奏、地域おこし協力隊のPR等を実施。 R5: 約350名 各自治体の地域おこし協力隊による出店(飲食、ワークショップ、展示等)、ステージコンテンツとして音楽演奏、トークイベント、スタンプラリー等を実施。